

日能研	4年							
	算数							
学習内容	7月の学習内容 19回 等差数列 20回 方陣算 夏期講習 数・量・式 平面図形の求積 平面図形の性質 規則性							
家庭学習ポイント	第19回は等差数列について学習します。等差数列では「□番目の数」と「□番目の数までの合計」を正しく出せるようになることがポイントです。まずは手を動かし「□番目の数を出すには、公差を□-1個足す必要がある」ことを実感する必要があります。近年の入試問題では「手を動かすと決まりが見つかる」という問題が主流です。公式、解き方を覚えることも大切なのですが、底に至るまでの考え方、手順をしっかりと理解して解くようにしましょう。等差数列に習熟してくると、一見等差数列の問題には見えない図形の記憶性の問題なども「本質的には等差数列の問題と同じ」と見抜くことができるようになります。方陣算では基石を4つの部分に切り分けることで、計算によって個数を出すことができると学びます。「四畳半切り」と呼ばれる方法ですが、ある見方をする（視点を変える）ことで規則を見つけ出すことができるのは、算数ではよく使う考え方のテクニックです。4年生の夏期講習期間は6日間と、非常にコンパクトにまとめられています。空いている期間には、学校の宿題や夏休みならではのイベントを計画しているご家庭が多いと思います。ぜひ並行して1学期の内容で見直しておきたい単元を準備し、復習をしておいてください。							
課題の把握と解決策	チェック1	等差数列の「□番目の数」を正しく計算できますか？						チェック
	解決策	「はじめの数+公差×（□-1）」の意味をしっかりと理解しておくことが大切です						□
	チェック2	等差数列の「□番目の数までの合計」を正しく計算できますか？						チェック
	解決策	上記の「□番目の数」を正しく求めることが前提ですが、その後も公式頼みにならないよう注意						□
	チェック3	方陣の基石の数を正しく計算できますか？						チェック
	解決策	「四畳半切り」をマスターしましょう						□
	チェック4	方陣の「まわりの1列の数」を正しく計算できますか？						チェック
	解決策	こちらも「四畳半切り」です。むやみに「-1」と暗記しないことが大切です						□
	チェック5	夏休みに復習しておきたい単元について、リストアップしていますか？						チェック
	解決策	他塾に比べて日程に余裕のある日能研だからこそ、準備しておきましょう						□
日能研	4年							
	国語							
学習内容	7月の学習内容 19回 情景の表し方① 20回 情景の表し方② 夏期講習 ものとなとのつながり ～説明的文章～ 人と人とのつながり ～文学的文章～							
家庭学習ポイント	19回、20回は詩の学習が中心になります。比喻を用いて表現に工夫を凝らしたもの、自然に対する感動をうたったもの、子への愛情を表現したものなど、詩がもつ独特の表現などを読み解いていきます。19回のテーマは「情景を想像する」ですが、まさにその通り、「本科教室」に収録されている著名な作家が詠んだ良質で読みやすい詩を朗読し、どのような情景なのか映像のように思い浮かべてみましょう。お子さんに想像してもらいながら「どんなことが見える？」と質問してみてください。この読解技術は物語文の読解にも応用できる方法です。栄冠、そして余裕があるなら「問題研究」を解いてみるのもよいでしょう。夏期講習は日程がコンパクトなので「自分で+aの勉強として何をするか」夏休みが始まるまでに準備しておきたいですね。							
課題の把握と解決策	チェック1	詩を読んで情景を映像のように想像できますか？						チェック
	解決策	文字による情報が少ない詩の単元は、この方法が特に有効です						□
	チェック2	語彙を増やす努力をコツコツと続けていますか？						チェック
	解決策	市販のテキストなどを使って、ことわざ・慣用句などに関する知識を補充しましょう						□
	チェック3	夏休みにする復習について、計画を立てていますか？						チェック
	解決策	休みが多い4年生の夏は、勉強も遊びも計画的にこなしたいですね						□
	チェック4	漢字の学習はコンスタントに続けられていますか？						チェック
	解決策	「計算と漢字」だけでなくもう少し詳しい情報が収録された辞典などを併用しましょう						□
	チェック5	夏休みの宿題～読書感想文は上手に書けそうですか？						チェック
	解決策	どんなことを書けばいいのか、情報がたくさんあるのであらかじめ調べてみるといいですね						□

日能研	4年							
	理科							
学習内容	7月の学習内容 10回 水の三態変化 夏期講習 こん虫と節足動物 花のつくりと働き 種子のつくりと発芽の実験 水中の小さな生き物と顕微鏡 物の重さと体積、物の体積変化 水の三態変化							
家庭学習ポイント	第10回は「水の三態変化」について学びます。温度によって水は「氷⇄水⇄水蒸気」と変化しますが、このときの様子を学んでいきます。固体である氷が溶けて水（液体）になると自由に形を変えられるようになり、さらに熱を加えて気体（水蒸気）になると目に見えず空気中を動き回る存在になることは、身の回りに経験することでもあります。「洗濯物が乾く」「やかんの湯が沸騰する」「寒い日にガラスに水滴がついて曇る」など、日常の経験と照らし合わせながら理解していくことが大切です。また水が氷になると体積が約1.1倍に増えること、水蒸気になると約1650倍に大きくなること（この圧力を活用するのが蒸気機関ですね）なども、実体験と絡めて記憶しておくとういでしょう。授業で習ったこと、先生が言ったことが未経験であるなら、ご家庭で再現して今経験しておくことも有効な方法です。夏期講習ではこん虫、植物やプランクトンなどこれまでの総復習を行います。大手塾の中ではいちばんゆっくり、丁寧に進むカリキュラムであることを理解し、夏にこれまでの知識を仕上げるイメージで取り組みましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	温度が低くなると水が氷る、という経験をしたことがありますか？						チェック
	解決策	「冷凍庫を使う」でもいいので、一度自分で氷を作る経験をするといいですね						□
	チェック2	水が水蒸気になることを実感したことがありますか？						チェック
	解決策	「沸騰」と「蒸発」の違いについても考えてみましょう						□
	チェック3	「水蒸気は目に見えない」ということを実感できていますか？						チェック
	解決策	夜間やお風呂の「湯気」は目に見えているので水蒸気ではなく小さな水の粒とわかりますね						□
	チェック4	夏期講習以外に夏に勉強することを準備できていますか？						チェック
	解決策	学校の宿題なども含めて、リストアップして夏に臨みましょう						□
	チェック5	自由研究でやることを考え始めていますか？						チェック
	解決策	お子さんの興味があることが何か、あらためて知るチャンスですね						□
日能研	4年							
	社会							
学習内容	7月の学習内容 10回 都道府県のようなす 夏期講習 日本の地形 海岸線・半島・島 都道府県と都市 水・森林などの資源 はなれ島や山村のくらし 市区町村と政令指定都市							
家庭学習ポイント	台10回は「都道府県のようなす」というテーマで、各都道府県の面積と人口の特徴、過疎・過密といったことについても学習します。本科教室」ではさまざまなことが文章で語られていて、その中で重要なこと、覚えるべきことを自分なりにピックアップし、理解を深めていくことが求められます。これは（4年生にとっては特に）レベルの高いことで、ぜひテキストを使った「暗記」について、「マーカーで大切だと思う語句に印を入れる」「問題で問われた語句や事柄が載った部分に戻って覚える」など、親御さんがアドバイスを与えてあげてください。都道府県の形や日本地図上での位置が言えること、県庁所在地名を感じて書けることなどが目標となります。今後の日本地理の学習の礎となる知識ですので、ぜひ第10回で知識をつけてしまうよう、お子さんにアドバイスしてあげるようにしてください。							
課題の把握と解決策	チェック1	日本の8地方をすべて漢字で書けるようになりましたか？						チェック
	解決策	前回内容ですが今月につながります。日本地図上の位置も覚えておきましょう						□
	チェック2	日本の47都道府県、県庁所在地名をすべて漢字で書けるようになりましたか？						チェック
	解決策	こちらはハードルの高い作業ですが、時間がかかっても身につけておく価値があります						□
	チェック3	都道府県の形をシルエットで示されたら答えられますか？						チェック
	解決策	入試問題では日本地図どおりの向きでないものが出題されるので確実な知識が必要です						□
	チェック4	政令指定都市の人口トップ3は？						チェック
	解決策	横浜市・大阪市・名古屋市ですね						□
	チェック5	地理の学習に地図帳と白地図を併用していますか？						チェック
	解決策	引き続き、今後の地理の学習のスタンダードスタイルにしていきましょう						□